

〔輸送コスト削減便益(コンテナ)〕

本プロジェクトの整備に伴う陸上輸送コスト削減額を算出する。
取扱貨物量を5,352TEUと予測。2.5億円/年の輸送コストが削減される。

【陸上輸送費用】

項 目		With時	Without時
コンテナ個数(個/年)	20ft	1,354	1,354
	40ft	1,999	1,999
輸送距離(km):一般道路片道		10.0	8.5
輸送距離(km):高速道路片道		0.0	60.9
輸送距離(km):往復		20.0	138.8
1個当たり陸上輸送費用(円/個)	20ft	25,050	77,700
	40ft	38,710	119,310
高速道路輸送費用(円/個)		0	4,500
陸上輸送費用(千円/年)		111,299	358,795
陸上輸送費用削減便益計(億円)			2.47

【陸上輸送時間費用】

項 目		With時	Without時
個数(個/年)	20ft輸出	484	484
	20ft輸入	870	870
	40ft輸出	713	713
	40ft輸入	1,286	1,286
輸送時間(時間)		0.3	1.1
時間費用原単位(円/h/個)	20ft輸出	1,600	1,600
	20ft輸入	1,200	1,200
	40ft輸出	2,400	2,400
	40ft輸入	1,800	1,800
陸上輸送費用(千円/年)	20ft輸出	232	852
	20ft輸入	313	1,148
	40ft輸出	513	1,882
	40ft輸入	694	2,546
陸上輸送費用(億円/年)		0.02	0.06
陸上輸送費用削減便益計(億円)			0.05

〔輸送コスト削減便益(石炭・石灰石)〕

本プロジェクトの整備に伴う陸上・海上輸送コスト削減額を算出する。

取扱貨物量を石炭360千トン、石灰石730千トンと予測。38.3億円/年の輸送コストが削減される。

①石炭

【陸上輸送費用】

項 目	With時	Without時
貨物取扱量(トン/年)	360,000	360,000
輸送距離(km)	0	216
トラック使用台数(台)	0	25,715
トラックの輸送費用(円/台)	0	60,956
陸上輸送費用(百万円/年)	0	1,567
陸上輸送費用削減便益計(億円)		15.67

【海上輸送費用】

項 目	With時	Without時
貨物取扱量(トン/年)	360,000	360,000
船隻数(隻)	12	12
往復航海時間(日)	5	5
海上輸送費用原単位(千円/隻・日)	2,757	2,757
海上輸送費用(百万円)	14	14
海上輸送費用削減便益計(億円)		0

②石灰石(国内大手セメント製造会社)

【陸上輸送費用】

項 目	With時	Without時
貨物取扱量(トン/年)	600,000	600,000
輸送距離(km)	16	208
トラック使用台数(台)	42,858	42,858
トラックの輸送費用(円/台)	17,888	60,956
陸上輸送費用(百万円/年)	767	2,612
陸上輸送費用削減便益計(億円)		18.46

【海上輸送費用】

項 目	With時	Without時
貨物取扱量(トン/年)	600,000	600,000
往復航海時間(日)	2.3	2.6
船舶隻数(隻)	60	60
海上輸送費用原単位(千円/隻・日)	1,790	1,790
海上輸送費用(百万円)	247.02	280.11
海上輸送費用削減便益計(億円)		0.33

③石灰石(石灰石採掘・販売会社)

【陸上輸送費用】

項 目	With時	Without時
貨物取扱量(トン/年)	130,000	130,000
輸送距離(km)	30	208
トラック使用台数(台)	9,286	9,286
トラックの輸送費用(円/台)	20,418	60,956
陸上輸送費用(百万円/年)	190	566
陸上輸送費用削減便益計(億円)		3.76

【海上輸送費用】

項 目	With時	Without時
貨物取扱量(トン/年)	130,000	130,000
往復航海時間(日)	2.7	2.9
船舶隻数(隻)	6	6
海上輸送費用原単位(千円/隻・日)	2,370	2,370
海上輸送費用(百万円)	38.01	41.54
海上輸送費用削減便益計(億円)		0.04

〔交通事故削減便益〕

本プロジェクトの整備に伴い、港湾関連交通の混雑が緩和し、走行距離が短縮され、交通事故による社会的損失が減少する。

交通量を2,092台/日と予測。0.21億円/年の交通事故削減便益が発生する。

項 目	With時	Without時
自動車交通量(台/日)	2,092	2,092
延長(km)	3.4	6.0
主要交差点数(箇所)	6	13
走行台キロ(台・km/日)	7,113	12,552
交差点走行台箇所(台・箇所/日)	12,552	27,196
年間事故損失額(億円)	0.15	0.35
年間事故損失額削減便益(億円)		0.21

〔海難減少便益〕

本プロジェクトの整備に伴い、避泊水域が拡大され避泊可能隻数が増加し、海難事故が減少する。避泊可能隻数は6隻となる。28.3億円/年の海難減少便益が発生する。

項 目		With時	Without時
収容隻数(隻)		6	0
年間荒天回数(回)		6.9	
荒天遭遇隻数の年間減少隻数(隻)		41.4	0
損失額原単位(千円/隻)	全損	484,509	
	重大損傷	334,852	
	軽微損傷	71,372	
損失の発生比率(%)	全損	4.6	
	重大損傷	9.5	
	軽微損傷	19.9	
損失回避額(億円)		28.28	0.00
損失回避額便益(億円)		28.28	

〔浸水防護便益〕

本プロジェクトの整備に伴い、切迫性が指摘されている南海地震が発生した場合、津波による浸水被害も軽減できる。
 浸水床面積が12万㎡減少する。886億円/年(南海地震の長期評価確率を乗じる前の便益)の被害軽減額が発生する。

項 目		With時	Without時
床面積(㎡)	2m未満	3,666,511	3,743,495
	2m以上	268,521	313,426
家屋1㎡当たりの評価額(千円/㎡)		175.2	
被害率	2m未満	0.5	
	2m以上	1.0	
被害額(千円)	2m未満	321,186,364	327,930,162
	2m以上	47,044,879	54,912,235
家庭用品資産被害回避便益(億円)		146.1	

世帯数(世帯)	2m未満	37,567	37,943
	2m以上	3,529	3,903
1世帯当たりの評価額(千円/世帯)		15,042	
被害率	2m未満	0.5	
	2m以上	1.0	
被害額(千円)	2m未満	282,541,407	285,369,303
	2m以上	53,083,218	58,708,926
家屋資産被害回避便益(億円)		84.5	

被害額(千円)	2m未満	178,788,184	182,463,133
	2m以上	16,447,984	18,942,956
事業所資産被害回避便益(億円)		61.7	

農漁家世帯数(世帯)	2m未満	992	1,016
	2m以上	48	59
1戸当たり(千円/世帯)	償却資産評価額	2,272	2,272
	在庫資産評価額	434	434
被害率	2m未満	0.5	
	2m以上	1.0	
被害額(千円)	2m未満	1,342,176	1,374,648
	2m以上	129,888	159,654
農漁業資産被害回避便益(億円)		0.6	

農作物の被害額(千円)	3,627,813	3,733,993
海水冠水による農地被害(千円)	10,883,439	11,201,978
津波による農地被害(千円)	41,416,841	42,998,509
農作物試算被害額(億円)	20.1	

一般資産当被害額(千円)	956,494,401	987,800,565
一般資産当被害額に対する公共土木施設資産被害額の比率	1.8	
公共土木施設試算被害額(億円)	563.5	

一般資産当被害額(千円)	956,494,401	987,800,565
一般資産当被害額に対する公益事業資産被害額の比率	0.03	
公益事業資産被害額(億円)	9.4	

損失回避額便益(億円)	885.9	
-------------	-------	--